

例会報告

第2357回
柏東合同ガバナー公式訪問例会報告議事録
日時 26年10月9日(木曜日)
場所 ホテル マークワン 我孫子
時間 12:10点鐘

ゲスト: 第2790地区ガバナー 宇佐見透様
柏東RC 会長 中村俊人様
渡邊 隆様 吉田恵次様
新田辰吉様 荒木賢治様
荻野 勝様

会長挨拶

上村文明会長



本日は公式訪問ということで宇佐見ガバナーをお迎えして、楽しい合同例会となることと思います。

先ほど10時半から12時まで宇佐見ガバナーのお話を伺いました。大変心のあるお話をたくさん聞かせて頂きました。ぜひ会員の皆様にも再度お話して頂きたいと思いました。特に組織のCLP、DLPについて、DLPが先にあったという話を聞き、なるほどと思いました。

私が5年前に会長を務めさせていただいた時に、中村ガバナーよりCLPのお話をいただき、何故そうなのかわからないまま、それぞれのクラブでCLPを考え、組みました。DLPがいよいよ本格的になってきた時に、CLPの組織ではなかなか合わず、地区大会等に出る時にどれにどの委員長を出すのか苦しみながらやってきました。

CLPの時は短年度計画を長期計画に変える等あり、5年前に不易流行という形で1年勤めさせていただきましたが、自分でも満足できる活動はできませんでした。

今日はこれからガバナーに大変有意義なお話をさせていただきます。日頃疑問に思っている事が解決できると思います。

今日は合同例会ということで、いつもこれくらいの人数が集まれば会長職もやりがいがあるかなと思います。のちほど、東さんの中村会長にもお話していただきます。非常にバイタリティのある会長さんです。私も負けられないようにと思いながらも、中村会長の方が実践力が上でいらっしゃいます。学んで行きたいと思います。

出席報告

依田委員長

19名出席(全員で26名) 出席率73.1%

ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金 額
上村文明会長	宇佐見ガバナーありがとうございます。	1,000円
小池会員	ガバナーをお迎えして。	1,000円
塩毛会員	ガバナーをお迎えして。	1,000円
菅谷会員	子供二人の内定が決まりました。	1,000円
瀧日会員	合同例会を楽しみました。	1,000円
丸田会員	宇佐見ガバナー公式訪問御礼。	1,000円
依田会員	宇佐見ガバナーのお話ありがとうございました。	1,000円
当 日 計		7,000円
今期累計		115,000円

幹事報告

我孫子 RC 服部幹事

本日はご報告することはございません。

幹事報告

柏東 RC 酒巻幹事

12日に沼南祭りがあります。準備に来られる方は一般の駐車場に駐車して徒歩でお越し下さい。グレーのジャンパーを着用していただくようお願い致します。



我孫子ロータリークラブ及び柏東ロータリークラブの皆様改めまして、こんにちは。今年度2790地区ガバナー職を務めさせて頂いております宇佐見と申します。所属は千葉幕張ロータリークラブです。

皆様にはいつも御協力賜りありがとうございます。

本日公式訪問させて頂きましたのは、2014-15年度国際ロータリー会長ゲイリー・ホァン氏が提唱されましたテーマ「Light Up Rotary」を一刻も早く皆様にお伝えし、今年度方針にもとづきロータリーの目的を推進頂くよう結束

頂きたく直接お話しさせて頂こうとの思いで公式訪問させて頂きました。既に3月8日に開催しましたリーダーセミナー、3月29日に開催しましたPETS、そして4月29日に開催しました地区研修・協議会といういわゆる3大セミナーに上村会長、服部幹事を初めクラブ指導者である各委員長の方々にご参加頂き、皆様を通じてご理解を頂いたうえで、スタートをされておられると思います。

ガバナーという身に余る職責ではありますが、誠心誠意努力致しますのでご支援ご協力の程お願い申し上げます。

2000年にRIより地区に対しDLP（ディストリクト・リーダーシップ・プラン）を検討する旨の要請がありました。現在RI理事会によりガバナーは地区組織を構成するうえでDLPの構成に準拠したもの確立するよう要請されています。このことは現在会員減少に悩むクラブにとって、少ない会員数の中でどの様にすれば活性化するかを検討したものであります。即ち従来の4大奉仕委員会をベースに取り組もうとすると一人で何役もこなさねばならない現実突きあたります。そこで思い切った組織改革を考えようと思ひつゝ取り組んだのがDLPです。具体的に申せば

- (1) 社会奉仕プロジェクト、国際奉仕プロジェクトに関しては全て「奉仕プロジェクト委員会」なる新組織で統括する
- (2) 増強を目的とした会員増強・退会防止委員会を新たに組織し会員選考や職業分類も含めた活動を行う。
- (3) 地域の人々に私たちの活動を具体的にお知らせする広報公共イメージ委員会を新設しロータリーの友委員会や会報委員会ともコラボレイトする活動を行う。
- (4) 親睦、出席、プログラムなど運営に関わる委員会は旧来のロータリー情報委員会をクラブ管理・運営委員会と変えこれら全てを統括する。

以上4つの常設委員会と呼ばれる組織に大きく変えたのがDLPです。青少年、財団、米山は旧来のままです。このようにする事により少ない会員のクラブでも活性化できるのではとの考えからこれがCLPに繋がればと考えたのはと思います。しかしこれを行うのはあくまでもクラブ自身です。実際の活動はクラブであり会員皆さんが主役なのです。

わたしは先程RIがDLPを中心にした地区組織検討するよう云われておると申しましたがこのDLPの先に皆さんのCLPがあるとお考えください。ここが重要で今までCLPのみ導入しろと話されても目的が見えなければ解らなくとも当たり前です。ですから今年度はまず地区組織を変え活動内容と目的をはっきり示すことにしました。ロータリーは単年度制ですから来年また従来の地区組織に戻るかも知れません。ですが私は次年度の櫻木エレクトにこのことだけは変えないで欲しいとお願いしております。くどい様ですがガバナーとして、クラブの皆さんの理解を得ながら変革を試みようと考えています。研修リーダーにもお願いし、DLPの確立のもと各クラブでそれぞれ、独自に検討、取り組まれているCLP（クラブリーダーシッププラン）の明確化に繋がればと考えています。この後のクラブ協議会でもCLPの目的と地区におけるDLPの位置づけから何故、今必要なのかなど、ご意見を伺えればと思っております。

1905年の発足以来一世紀を超えるロータリー活動には、時代の変化と共に変わった部分もあると思いますが、変わらぬ原点は職業奉仕にあると考えます。私にとってロータリーとは、自らの職業を通しての倫理運動であり地域社会への貢献を基本に根ざすものであると考えます。定款にも「ロータリーの目的は意義ある事業の基礎として、奉仕の理念を奨励しこれを育むことにあり」と明記されております。ロータリアンを侍に例えた場合、職業奉仕とは、武士としての象徴を示す刀のような存在と思っています。侍は研鑽を重ね武士となり、帯刀を致しますが但しこの刀は戦（いくさ）の道具では無く、武士としての気構えの象徴です。ロータリアンの持つ刀は、自分を律する気持ち、又は誇りとして、自らの心の中に置いておくべき物でありロータリアンの心に宿る刀はロータリアン同士の厚い信頼関係基づく不可能を可能に変える存在だと思ひます。キーワードは「和して同ぜず」です。「和する」すなわち友となり仲間となることは大変素晴らしいことであり皆で一緒に取り組み大事を成す事は大切です。しかし同時に、「同ぜず」が大切で「他人の

（次ページへ続く）

意見に惑わされる事無く、自分の意見をしっかり持たねばならない」と考えます。「自らの職業に基づく人としての信頼回復」と「和して同ぜず」の2つをモットーにロータリーの復活による「原点回帰」を次年度テーマに、皆様の御協力のもと地区運営にあたってゆきたいと思います。ロータリーは今やっていることだけを未来永劫変えることなく、続けてゆくという考え方から、変わりながら続けてゆく事の大切さを、改めて考えて頂きたいと思います。ロータリアン同士、職業奉仕を心に携えてゆけば、ロータリーは再び新たな羽根を持ち大空に飛び立てる時が来ると確信しております。

会員増強についてホアン会長は新会員を引き付けつけると共に、現会員を維持し、世界で130万人への会員拡大を目標にされています。会員増強について、会員数の数字だけにこだわり「数は力なりの原則のもと、会員を増やせ増やせとスローガンが掲げられますとすぐさま反発する形で「質」と「量」の議論が発生します。更に悪いのは、質か量かという命題を並べて、出来ない理由を議論し、やらない理屈を語る事です。増強問題は出来ない理由を語るマイナス発想ではなく、まずやろうとするプラス発想からのスタートが大切だと思っています。今年度の増強目標は地区に因んで2790名とし、各クラブに純増1名をお願いします。広報公共イメージ活動でロータリーがどのような活動をしているのかを地域社会の人々に知ってもらえるよう、「ロータリーデー」を開催して下さることを願っています。そこで私たちは、社会貢献という共通意識のもと、互いの絆を深め、時間、才能、資金を注いで活動するグループであることを広報下さい。私たちは「行動の人」であり、同じ目的意識を持つ人たちと協力して、地域社会が直面する問題を解決しようと努めていること、同じ様に地域社会のことを考える人びとを見つけないと願っていることを伝えることが重要と考えます。にもかかわらず、認知度が低いと感じます。ロータリーが何を目的とし、何をしているかを知らなければ、入会しようという人や、協力しようという人がいないのも当然です。確固とした、好ましい公共イメージは、単にロータリーの気高さを高めるだけで無く、それによって奉仕志向の会員が増え、ロータリーの活動をさらにレベルアップする重要な戦略だと思います。青少年奉仕活動について地域の方々及び学校教育機関の協力、顧問教師の方々の思い、御父兄の理解が必要で、信頼関係が無ければ成立しません。インターアクト、ローターアクト、青少年交換、ライラ等での四委員会が「ロータリーデー」への参加を通じ、それぞれどの様にして地域社会との融合を保つ参加が可能なのか御検討下さい。未来のロータリアンを育成しましょう。米山記念奨学会事業は日本で学ぶ外国人留学生にロータリアン自身による寄付金を財源とした奨学金を支給する事業で、日本独自の特色である「カウンセラー制度」「世話クラブ制度」が重要であると考えます。クラブとして「世話クラブの登録」「カウンセラー登録」を理解いただき、ぜひ米山記念奨学会への寄付目標である通常寄付と特別寄付の合計で一人15,000円達成をお願いします。最後にポリオ撲滅に関して1979年に始まったポリオ撲滅運動も35年におよぶ活動で、世界で3ヶ国（パキスタン、アフガニスタン、ナイジェリア）を残すのみとなりました。しかし本年5月5日にWHOはカメルーン、シリアなど非常在国からの発症報告に基づき「緊急事態宣言」を出しました。医師団が内戦に巻き込まれるなど予断を許さない状況でもあり国際的連携と取組みが求められています。当地区では毎年1人あたり25ドルをお願いしております。

クラブ協議会

司会進行：我孫子RC幹事 服部広司

13:50 開会挨拶 柏東RC会長 中村俊人

14:00～ <協議会>五大奉仕委員長の活動計画発表

- 1) クラブ管理運営委員会 我孫子RC 瀧 日 明 クラブ管理運営委員長
- 2) 会 員 増 強 委 員 会 柏東RC 渡 邊 隆 会員増強・退会防止委員長
- 3) クラブ広報委員会 我孫子RC 丸田勝功 広報公共イメージ委員長
柏東RC 荻野 勝 広報/会報/雑誌委員長
- 4) 奉仕プロジェクト委員会 我孫子RC 上村晃一 職業奉仕委員長
柏東RC 吉田恵次 社会奉仕委員長
柏東RC 新田辰吉 国際奉仕委員長
我孫子RC 鈴木公三 米山記念奨学委員長
- 5) 青少年奉仕委員会 柏東RC 荒木賢治 青少年奉仕委員長

15:30～ 総評及び質疑応答 第2790地区ガバナー 宇佐見透 (敬称略)

開会挨拶

柏東RC会長 中村俊人様



本日は宇佐見ガバナーにお越しいただきまして、我孫子RCと柏東RCの合同の公式ガバナー訪問を受けております。

ガバナーの卓話の中でなるほどなと思うことがたくさんあったと思います。

この例会が始まる前に、我孫子さんと柏東の会長幹事、次年度の会長幹事共々、懇談会をさせていただき、改めて知り得る事がたくさんありました。その中でも活動計画書の中の定款細則につきましても今まで疑いもせずそのまま入っていた所等も指摘していただき非常に参考になりました。

2002年7月に森島パストガバナーの時にも、ここホテルマークワンアビコさんで我孫子さんと合同で行いました。テーマは「慈愛の種をまきましょう」だったと思います。

活動計画書に昨年までは職業宣言というのが掲載されていましたが、今年はありません。ガバナーにご質問させていただきました。職業奉仕というのはロータリーにとって、切っても切れないものですが、その意識が薄れているのではないかと思います。

宇佐見ガバナーは原点回帰とおっしゃっています。今日ここで色んな形で色んな意見交換し、この年度の活性化に向けて活用できれば、有意義な時間になると思います。どうぞ宜しくお願い致します。

クラブ管理運営委員会報告

我孫子RC 瀧日委員長



ロータリーでは上下関係がなく対等な関係です。こういう特殊な組織をまとめていく場合の理念はやはり「4つのテスト」だと思います。その中でも「みんなに公平かどうか」ということが非常に重要だと思います。それを第一に念頭において活動していきたいと思います。

ロータリーの発展過程をみますと、最初は親睦であると思います。新しい企画も考えて頂いて、皆さんで楽しめるクラブ運営ができるよう親睦委員長に期待する所が大であります。

週に1回、会員が顔を会わせる唯一の機会である例会を有意義にするものの一つとして卓話があります。外部からの卓話をお願いするのは我孫子の場合、予算的に厳しいのですが、会員の経験をベースにした卓話を期待したいと思います。卓話の時間は優先的にきちんと取るようにS.A.A.にお願いしたいと思います。

ガバナーからもお話しがありましたが、広報については、ロータリーは自ら宣伝はしないという考えで進んできましたが、会員増強等を考えると外部に対して発信することは大事だと私も思います。幸い当クラブにはベテランの印刷関係の担当者がおりますので、広報活動を充実していきたいと思います。

32頁に各委員長からのメッセージが書いてありますので読み上げたいと思います。(活動計画書2014-2015、32頁参照)

以上で終わります。ありがとうございました。

会員増強委員会報告

柏東 RC 渡邊委員長



実は私は現在、会員増強・退会防止委員長ではなくクラブリーダーでございますが、やらせていただくことになりました。宇佐見ガバナーよりたくさんの実のあるお話を伺いました。

我々がロータリーに入った時には、あまりロータリーは宣伝しなくていいと教育を受けたのは事実であります。今はそうではありません。宣伝をして優秀な人材にロータリークラブに入ってもらい、地域の為に奉仕をしようという方針に変わってきています。

昨年度は私も2回目の会長をしました。その時の実態をお話しさせていただきます。高齢のクラブであるということを考え、クラブ活性化の為にクラブ設営も含めて環境を変えることが一番大事だと考え、藤ヶ谷カントリークラブに例会場を変えることにしました。私も会員増強委員長を兼務し、増強に励みました。

地区でこういう印刷物を作り、会員の皆さんの車に置いて、会員になってくれそうな方に配るようにしたところ、昨年の10月から今年の10月までに6人の増強を果たす事ができました。

また、「沼南」という壁を取り払い、いろんな所から会員を増強しました。そこでムサシの国から天使が降りてきました。634(ムサシ)メートルのスカイツリーの事業をしていらした藤原会員が一気に3、4、5名と会員を連れてきてくださいました。

我々古い我々は引退をして、若い人に新しい発想で新しい奉仕活動に臨んでいただきたいと思います。

ガバナー月信13号にクラブ会員増強についてのデータが載っております。手前味噌になりますが、柏東の名前がたくさん出ております。

会員というのは企業で言えば資本だと思っております。ロータリークラブの会員増強というものは質の高い、ステイタスのある、考え方のしっかりした、奉仕活動という同じ志を目指す人材を求めている訳であります。

退会防止につきましては、例会場の雰囲気、新しい会員のクラブに対する第一印象が大事だと思っています。

もう3名、至上命令でございますので、頑張っていきたいと思っております。ありがとうございました。

クラブ広報委員会報告

我孫子 RC 丸田委員長



我孫子クラブの広報については先ほど我がクラブの瀧日委員長が話してくださいましたので、東さんの荻野委員長に活動計画をお話ししていただきたいと思います。

今年度、ガバナー補佐もやらせていただいております。スケジュールが詰まっています。年次総会、ロータリーデーに向けて形のあるものを作っていかなければと思っています。

私は印刷業なのですが、国際見本市を見に16年前にシカゴに行きました。そこから飛行機で1時間くらいのインディアナポリスという所にある印刷会社の機械も見に行ったのですが、パスポートを持たずにシカゴ空港に行ってしまった。6名いた中で2名がロータリアンだったのですが、空港支配人の方の判断で「ロータリアンだったら大丈夫でしょう」ということで、無事にインディアナポリスに行く事ができました。まさにロータリークラブってすごいなと感じた経験でした。

柏東RC 荻野委員長

宇佐見ガバナーの方で柏東を取り上げていただいて、活用しない手はないなと思っております。

委員長が委員会に出た場合、例会で発表することはもちろんですが、会報に載せる原稿も書いていただいております。

10分区分でホームページがないのはうちだけだったのですが、昨年理事会で承認いただき、事務局や皆さまの協力を得て、なんとかホームページが出来ました。それを活用して公共イメージをアップしていきたいと思っております。

奉仕プロジェクト委員会報告



我孫子RC 上村晃一職業奉仕委員長

私もロータリーに入って44、5年になりますが、職業奉仕とは何かというと答えられる人は少ないです。

ロータリーができた1905年当時は経営学はやっと学問として成り立った程度でしたが、ロータリーの職業奉仕とは経営学に非常に近いのではないかと思います。シェルドンの「最大に奉仕したものが、最大に報われる」とかコリンズの「超私の奉仕」、こういう話が出ますが、ピーター・ドラッカーという人の言葉も入れながら、職業奉仕の意味を考えなければ、これからむずかしいのではないかと思います。

宇佐見ガバナーもおっしゃっていましたが、RIについて疑問を持ったら、ある程度言うべきだと思います。変える事ができると確信を持っています。



柏東RC 吉田社会奉仕委員長

我が東の方の社会奉仕については、毎年4大事業を計画させていただいております。委員が8名おりますので2名ずつ担当委員を決め、責任を持って事業にあたっています。

すでに、柏市の南部こどもまつり、敬老の日に行った福祉施設での「ふれあいコンサート」を大盛況のうちに終えました。沼南まつりでもテントを借り受けて、ポリオ撲滅について広報を行ったり、子ども達に色んな遊びを提供したりしています。5月にはゴミゼロ運動に参加して、わが町をきれいにしています。

こんな形で毎年、4大事業を継続しています。

柏東RC 新田国際奉仕委員長

国際奉仕として「未来の夢計画」ということで地区の補助金をいただき、千葉大を卒業した米山の学友サジーさんを通して、コスモス奨学金という会と連携し、スリランカの恵まれない子ども達に本を提供する人道支援をしています。補助金25万に我々が取り揃え50万円以上を持って、スリランカに図書室を現在作っており、1月に数名で行って贈呈式を行いたいと思っております。

スリランカというのは、とにかく子ども達が勉強したくても貧しくてできない状況です。もちろん食糧もなく、1日1食という生活です。その現状を見まして、なんとかしなければということで中村会長が立ち上げ現在に至っています。



我孫子RC 鈴木米山記念奨学委員長

中村会長さんが米山の中心として活躍している頃に初めてカウンセラーを担当させていただいたのですが、ベトナムのクエンちゃんという女の子をお預かりしました。顔合わせの時に幼稚園の行事でどうしても出られませんでした。後で「クエンちゃん、淋しそうだったよ」と言われた時にハッとしました。申し訳ない気持ちでした。

3年目の時にバトヤさんというモンゴルからの女の子をお預かりして、前の二の舞は踏むまい、と頑張ったのですが、米山の記念旅行にはやはり幼稚園の行事で行けませんでした。

私がカウンセラーをやらせていただいて一番感じたのは、ロータリアンが毎月奨学金を差し上げること以上に頂く事の方が多いということです。バトヤさんに関しては特にそうで、一年間を通して、すごいなと思いました。彼女はおもてなしの心が我々以上でした。まず、自分は先に行かない、食事も絶対に先に箸を付けない。立ち振る舞いの全てが相手を尊敬して重んじていました。モンゴリアンのスピリットはいつか是非見て知りたかったです。

日本の若者が疲弊しているような中で、将来への夢に向けての奨学生のまなざしを今でもよく思い出します。

先ほどガバナーより広報が大事だというお話があったのですが、バトヤとの出来事等を物語として発信して、これから先のカウンセラーが楽しみな気持ちをもって、この任務にあたれるようにしたいと思います。

今年のテーマは「ロータリーに輝きを」です。子どもはおぎゃーと生まれ輝いています。幼稚園に入る時も輝いて入ってきます。それを見ると、輝きながら死にたいなと私はいつも思います。白鳥ガバナーだったと思いますが「品性を私たちは身につけなければならない」とよくおっしゃっていました。愛を持った先輩ロータリアンに少しでも近付きたいと思いながら、輝きながら死んで行きたいと思っています。

鈴木公三さんの話を聞いて「どうせ生きるならば、この永遠の中に大いに学んで死ぬまでがんばろう」というガンジーの一節が浮かびました。先輩方が学んだことを現場に生かして、一生を過ごしていきたいなという気持ちでスピーチさせていただきたいと思います。

青少年奉仕として続けている活動について述べたいと思います。

地域の小学生対象の沼南のフットサルフェスティバルは中村会長が審判、指導をしており、毎年2月に行われています。

沼南書道会の中央公民館での展示に対する支援もしています。高柳高校への職業指導をして地域社会に貢献しています。先ほどのふれあいコンサート等も青少年への支援になるのではないかと思います。

これから若い人々を支援する為にどのような形で継続していくのか検討しながら、更によりよいものを提案していきたいと思っています。

後ほどロータリー財団について質疑させていただきたいと思います。

質疑応答

柏東RC 荒木青少年奉仕委員長より

地区補助金ですが、外国に行く場合、グローバル補助金になるのではないのでしょうか。クラブの方にお金を回していただきたいです。

グローバル補助金の中でモンゴルに700万円使われているのですが、地域の決定は財団で行っているのか、ガバナーも交えて決定しているのでしょうか。

RIに積み立てているお金がどうなっているのか私たちには連絡がございません。リーマンショック等で損失もあったと思いますが、どうなっているのか教えていただけますか。

宇佐見ガバナーより

ロータリー財団の明細はRIより出ています。ゾーンセミナーがこれから開かれ、ガバナー、ガバナー補佐、財団委員会の者が出席し、その方々から情報が出てくると思います。インターネットで財団ニュースを検索していただくと、使い道がそこにも出ています。ただ、ファンドの投資先は具体的には出ていません。それは大変申し訳なく思っております。

グローバル補助金の地域の決定はRIの財団で行っています。地区は計画書を出すだけです。後処理が難しいため、審査が厳しいです。数年前にWCSを通じてフィリピンに親豚を出したのですが、1年後、親豚は食べられていました。豚の飼い方、増やし方を教えなければいけませんでした。

国際活動資金もRI財団で決められています。

是非応募してください。

柏東RC 中村会長より

先日、松本ガバナー補佐の元、分区の情報研究会を行ったのですが、入会間もない方々と先輩の方々とテーブルディスカッションを行いました。RLIを元にして行ったのですが、大変成果があり良かったです。他の地区でもそういうことは行われていますか？

宇佐見ガバナーより

残念ながらRLIはそこまで成熟しておりません。RLI方式は間違った方向に行く危険性を伴っていると思います。RLIは議論の仕方を教えるのであって、オピニオンリーダーとしての方向性を打ち出すものではありません。ディスカッション方式を伝えるのがRLI運動です。

2790地区では、どこの分区でもまだRLIは定着していません。ガバナーの国際協議会では全てこのRLIで討論が行われています。

上村晃一職業奉仕委員長より

DLPの活動が始まっていますが、リーダーというのは自然に出来て来るもので、養成しても効果がないと思うのですが、いかがでしょうか。

宇佐見ガバナーより

RLI委員会というものができているのですが、国際協議会を参考にしているのだと思いますが、現在DLのやり方等を研究しています。RLIはガバナーが判断して、私は委員会にするには早いと思うので、研究会にとどめています。

瀧日クラブ管理運営委員長より

原点回帰ということで、ポリオの完全撲滅を目指していますが、単にワクチン投与をするだけではだめで、生活水準、衛生水準を改善しなければならず、それは事実上不可能に近いと言われているのですが、できるのでしょうか。

宇佐見ガバナーより

確におっしゃる通りだと思います。しかし、だからと言って、歩みを止める訳にはいけないと思います。とりあえず野生株と呼ばれるものが絶滅したら完全撲滅と宣言してもよいのでは、と言われていきます。

渡邊会員より

地区委員はどういう基準で選ばれましたか。分区に地区委員がいるのといないのとでは情報伝達にかなり差が出ます。

(次ページに続く)

宇佐見ガバナーより

組織図を策定する時に、1クラブから1人、なるべく多くのクラブから選んでくださいと言われたのですが、私はそれはできませんと答えました。自分の意思が伝わっている人をお願いしたかったからです。ですから一つのクラブから2人、3人出ているクラブもあります。ちゃんとバトンをうまく受けてくださる方に頼みたかったからです。ご勘弁の程お願い致します。

閉会の言葉

柏東 RC 会長 中村俊人様

長い時間、皆さまお疲れ様でございました。

うちのクラブも地区の補助金をいただきながら国際奉仕の活動を進めています。財団に積んだ自分たちのお金を返してもらい運用できることは本当にありがたいと思います。

米山の2790地区の学友会が動いていますが、その理事長は千葉大のOBで、宇佐見ガバナーがカウンセラーをなさっていました。理解を深めてくださっていると共に、米山への思いもお持ちだと思います。宇佐見ガバナーが飾らない言葉、自分の言葉でお話しをしてくださったことが大変よかったと思います。ありがとうございました。